

Maki Fine Arts

www.makifinearts.com

5-1-1F, Nishigokencho, Shinjuku-Ku, Tokyo 162-0812
Email: info@makifinearts.com Tel : +81-(0)3-5579-2086

平野真美

「空想のレッスン」

2023年2月4日（土） - 3月5日（日）

オープニングレセプションは開催いたしません



平野真美 | Mami Hirano

蘇生するユニコーン | Rivive a Unicorn

2014

樹脂、シリコン、毛、電動ポンプ、エアーコンプレッサー他 | Resin, silicone, fake fur, electric pump, air compressor, etc.

165 x 138 x 50 cm

Maki Fine Artsでは2月4日(土)より3月5日(日)まで、平野真美 個展「空想のレッスン」を開催いたします。

これまで平野は、病気で衰弱した愛犬の身体の大きさや骨格などを正確に再現した作品「保存と再現」(2013年)や、亡くなった愛犬の遺骨が納められた骨壺をCTスキャンし、3Dプリンタで出力した遺骨を硝子や陶磁に作品化した「変身物語」(2018年~)などを発表してきました。それらの作品は、慈悲的で、死への眼差しを伴った観察の記録であり、失った存在を受容するためのセルフ・リフレクションともいえます。

Maki Fine Artsでは初めての個展となる本展では、2014年から現在進行形で取り組む作品「蘇生するユニコーン」の、新たな実践のプロセスが提示されます。想像上の生物であるユニコーンの実在化を試み、骨格・内臓・筋肉・皮膚などを緻密に制作、肺と心臓に生命維持装置をつなぎ合わせ、まるで生命を宿したかのような存在として出現させます。本展ではユニコーンに加えて、その身体の深部までを辿り、表皮、臓器、神経、血管、筋肉、骨格の設計図を展示します。拡張し続ける、平野のライフワークとしてのプロジェクトを是非ご覧ください。

Maki Fine Arts

www.makifinearts.com

5-1-1F, Nishigokencho, Shinjuku-Ku, Tokyo 162-0812
Email: info@makifinearts.com Tel : +81-(0)3-5579-2086

平野真美 | Mami Hirano

1989年 岐阜県出身。2014年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程先端藝術表現専攻修了。

闘病する愛犬や、架空の生物であるユニコーンなど、対象とする生物の骨や内臓、筋肉や皮膚など構成するあらゆる要素を忠実に制作することで、実在・非実在生物の生体構築、生命の保存、または蘇生に関する作品制作を行う。不在と死、保存と制作、認知と存在に関する思索を深め、現代の私たちはいかにそれらと向き合うのかを問いかける。

主な発表に「ab-sence/ac-cept 不在の観測」(岐阜県美術館、2021)、「2018年のフランケンシュタイン バイオアートにみる芸術と科学と社会のいま」(EYE OF GYRE、2018)、「平野真美 個展 変身物語 METAMORPHOSES」(3331 Arts Chiyoda、2021)など

■展覧会名 平野真美 「空想のレッスン」

■会期 2023年2月4日(土) - 3月5日(日)

■会場 Maki Fine Arts / 東京都新宿区西五軒町5-1エーワビル1F

makifinearts.com / Tel : 03-5579-2086 / E-mail : info@makifinearts.com

■営業時間 水曜 - 土曜 12:00 - 19:00 / 日曜 12:00 - 17:00

■定休日 月曜・火曜